



[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

時事評論家 増田俊男

薄氷を歩むアメリカ

アメリカは薄氷の上を歩み続けている。

アメリカは戦後の世界経済・軍事覇権国家だから、氷が割れてアメリカが水没すると世界も水没する。

昨年米ワイオミング州ジャクソンホールで開かれた世界の中央銀行総裁と国際金融関係者が集まる恒例のシンポジウム(8/2~23/2019)で英国中央銀行(Bank of England:BOE)の Governor Mark Carney(マーク・カーニー総裁)は、アメリカのGDP世界比は約40%で年々減少が続いているのにドルは基軸通貨として世界の貿易、金融、外貨準備の2/3を占めている。その為にあらゆる分野で不合理なひずみが出ている。「現状維持を思慮もなく受け入れるのは誤りだ」と言い、大胆にも「ドルを基軸通貨とする国際金融システムの抜本的改革が必要である」と述べた。さらに「現状維持と保護主義が中央銀行の政策余地をなくし、デフレ傾向を押さえ切れなくしている」と言い、FRB主導で先進国の中央銀行は財政破綻と市場のバブル崩壊の延命に専念している」と厳しく指摘した。

黒田日銀総裁と欧州中央銀行のドラギ総裁は、(カーニー総裁の演説内容を事前に知らされていたので)記者団にカーニー講演について賛否を問われると賛成も反対も出来ないのでシンポジウムを欠席した。BOEはバックス・ブリタニカ(大英帝国覇権)時代の中央銀行であり、1913年アメリカの中央銀行FRB(連邦準備銀行)に世界金融覇権を譲渡したFRB産みの親である。

今なお世界の金融センターであるシティ(City)を持つBOEは国際金融界の権威であることに変わりはない。その権威あるFRBの産みの親がドルを基軸とした中央銀行制度の行き詰まりと終焉を宣告したのは画期的である。

米連邦準備銀行(FRB)の株主がBOEの株主と同じユダヤ資本であることに変わりはない。

2020年のトランプの運命は、カーニー総裁がユダヤ資本の代理人として主張した抜本的国際金融制度改革をトランプがどこまで出来るかにかかっている。

その為にFRBが持つ合衆国通貨発行権を奪おうとするトランプと、これを阻止しトランプを葬り去ろうと見せかけるユダヤ資本との出来レースが展開される。

2020年の「カネの流れ」は、協賛金ご協力者にお贈りする(1月20日発信予定)「増田俊男の特別レポート第二弾」(恐ろしい資本の意志)で、また「金融制度変革が始まるこれからの世界と資産対策」は小冊子 Vol.113(1月27日発送予定)で詳しく述べる。お申込みは、<http://chokugen.com/> より

増田俊男の「時事直言」協賛金受付中!

現在、増田俊男の「時事直言」協賛金を購読者の皆様へお願いしております。

ご協力者の皆様へ増田俊男からのお礼として特別レポートをお贈りします。(メール又はFAX配信)

1口¥5,000(複数口歓迎) 詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S.リサーチジャパン(株)Tel:

03-3956-8888、HP: www.chokugen.com まで。

○特別レポート第1弾:「米中の真実」(12/24発信)

○特別レポート第2弾:「恐ろしい資本の意志」(1/20発信予定)

お申込みは、<http://chokugen.com/> より

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。